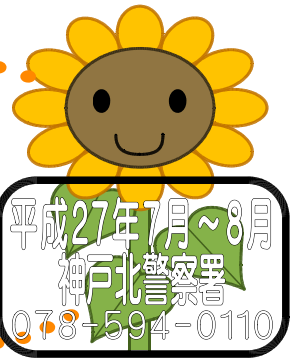




気をつけよう！ 水の事故・山の事故



夏がやってきました！子ども達は楽しい夏休みにわくわく、おとなの方もお休みの日にどこかにお出かけを考えていらっしゃる方は多いのではないのでしょうか。
夏といえば、海・川・山など自然を感じにお出かけされる方がたくさんいます。楽しい思い出づくりのはずが悲しいことに、毎年、水難事故・山岳遭難に遭われる方がいらっしゃいます。
一人ひとりが気をつけて、楽しい夏を過ごしましょう！

まず大切なこと！

気象情報を確認し、荒天時や天候の悪化が予想される場合は、出発を控えましょう。

水の事故にあわないために



● 悪ふざけはやめましょう！

ちょっとしたイタズラが事故につながるおそれがあります。抱きついたり、押さえつけたりするなどの行為は絶対にやめましょう。

● こどもの水難に注意！

海水浴場のほか、ため池や河川などにおいても、子どもの水難が発生しています。保護者の方は、子どもから目を離さないようにするとともに、普段から子どもに対して危険箇所近づかないように注意しましょう。

● 大人も注意しましょう！

魚釣り中に誤って海に転落する事案が多く発生しており、そのほとんどは大人です。暑い時期ではありますが、命を守るため、必ず、救命胴衣を着用してください。遊泳する際は、自分の体力・泳力を過信しないようにしましょう。また、飲酒は運動能力、判断能力等を低下させます。飲酒後の遊泳は厳禁です。



山の事故にあわないために

● 登山計画をたてましょう！

最も体力のない人、最も経験の少ない人を基準として、無理のない行程・ルートを選びましょう。また、予備日を設けるなど、余裕のある日程を組みましょう。

低い山であっても侮ることなく、スマートフォンや携帯電話、ラジオ、地図、方位磁石、非常食、ライト、雨衣などを必ず持って行きましょう。

● 登山届を提出しましょう！

登山計画を立てたら、登山届を作成して家族、職場、所属する山岳会や入山地を管轄する警察署に提出しましょう。万一、遭難してしまった時に、捜索や救助の重要な手がかりとなります。

なお、登山届の様式に決まりはなく、兵庫県警察のウェブサイトからも取得できますので活用してください。

